

銀メダル獲得祝賀会・報告会

12月25日(木)に、うみ・みらい館多目的ホールにおいて「東京2025 デフリンピックデフサッカー日本代表 松元卓巳選手 銀メダル獲得祝賀会・報告会」が行なわれ、約150人が来場し、松元選手の銀メダル獲得をお祝いしました。

祝賀会・報告会の中では、松元選手へ感謝状と花束が贈られた他、来場者からの質問に答えるコーナーや、松元選手が実際に試合や練習で使用したスパイクなどの豪華景品をかけたじゃんけん大会が行われ、会場は大いに盛り上がりしました。

松元選手は、町からの応援に対して感謝を述べられるとともに、「あきらめなければ夢は叶うが、夢から近づいてきてはくれない。夢を叶えにいてほしい」とこどもたちへエールを送られました。



- 1 こどもたちからは「どれくらい練習していましたか?」などの質問があがりました
2 質問者へサインボールのプレゼント
3 大盛況のじゃんけん大会
4 勝ち上がりナップザックをゲット!
5 桜原小学校の後輩も祝福に駆け付けました
6 メダルを触ったり、写真を撮ったりと会終了後も来場者と交流されました



閉会式では日本選手団の旗手を務められました



熱いキャプテンシーでチームを牽引



各試合の結果など
詳細は、町のホームページを
ご覧ください。

大観衆の応援を力に
日本代表としての誇りを胸に
銀メダル獲得

@MAKOTO57GPR / JDFA

デフリンピックでの
銀メダル獲得

11月14日(金)〜26日(水)に開催された東京2025デフリンピック。

宇美町出身の松元卓巳選手は、デフサッカー男子日本代表キャプテンのゴールキーパーとして5試合に出場し、予選リーグを1位で勝ち上がり、日本代表史上初の決勝トーナメントに進出。決勝まで駒を進め、見事銀メダルを獲得されました。松元選手は、ゴールキーパーとしていくつもの好セーブでチームを救うとともに、キャプテンとして声と手話を駆使して絶えずチームを鼓舞し、メダル獲得に大きく貢献されました。

松元選手は、「初戦、大勢の観衆が入ったスタジアムに立った時は、やっとここまで来たと嬉しさがこみ上げました」と振り返ります。これまで、デフリンピックやデフスポーツの普及のために尽力されてきたことが形となった瞬間でした。

今後について、「デフリンピックをとおして、デフスポーツを多くの人に知ってもらうことができたが、一過性のもので終わらせないために積極的にメディア出演などを行っていききたいです。また、アスリートとしては、4年後リベンジして、世界一のキーパーになるという夢を叶えたいです」と次を見据えて力強く話されました。

松元選手から応援してくださった皆さんへ

宇美町の皆さん、たくさんの応援をありがとうございました。生まれ育った地元で、こうやって皆さんと“一緒に闘う”という経験をさせていただき、結果で応えなかったのですが、今回は叶わなかったのも、また、2年後のワールドカップ、そして4年後のギリシャのデフリンピックで金メダルを獲りたいと思っています。

引き続き一緒に闘ってくれたらうれしいです。

宇美町 松元卓巳

パブリックビューイングで声援を送った
こどもたちから松元選手へメッセージ

最後まで諦めない姿がカッコ良かったです。次の大会では金メダルを取ってください。

松元選手を見て、僕たちももっとサッカーが上手になりたいと思いました。



みやた つかぎ 君 桜木 紬斗 君
じょうじま れお 君 宮地 勇惺 君

11月25日(火)に、デフリンピック男子サッカー決勝戦を応援する「パブリックビューイング in 宇美」を開催しました。小学生から大人まで、100人余りの町民の皆さんが集まり、青いバールンを手には、日本代表へ熱い声援を送りました。

パブリックビューイングで
町からも応援を届けました